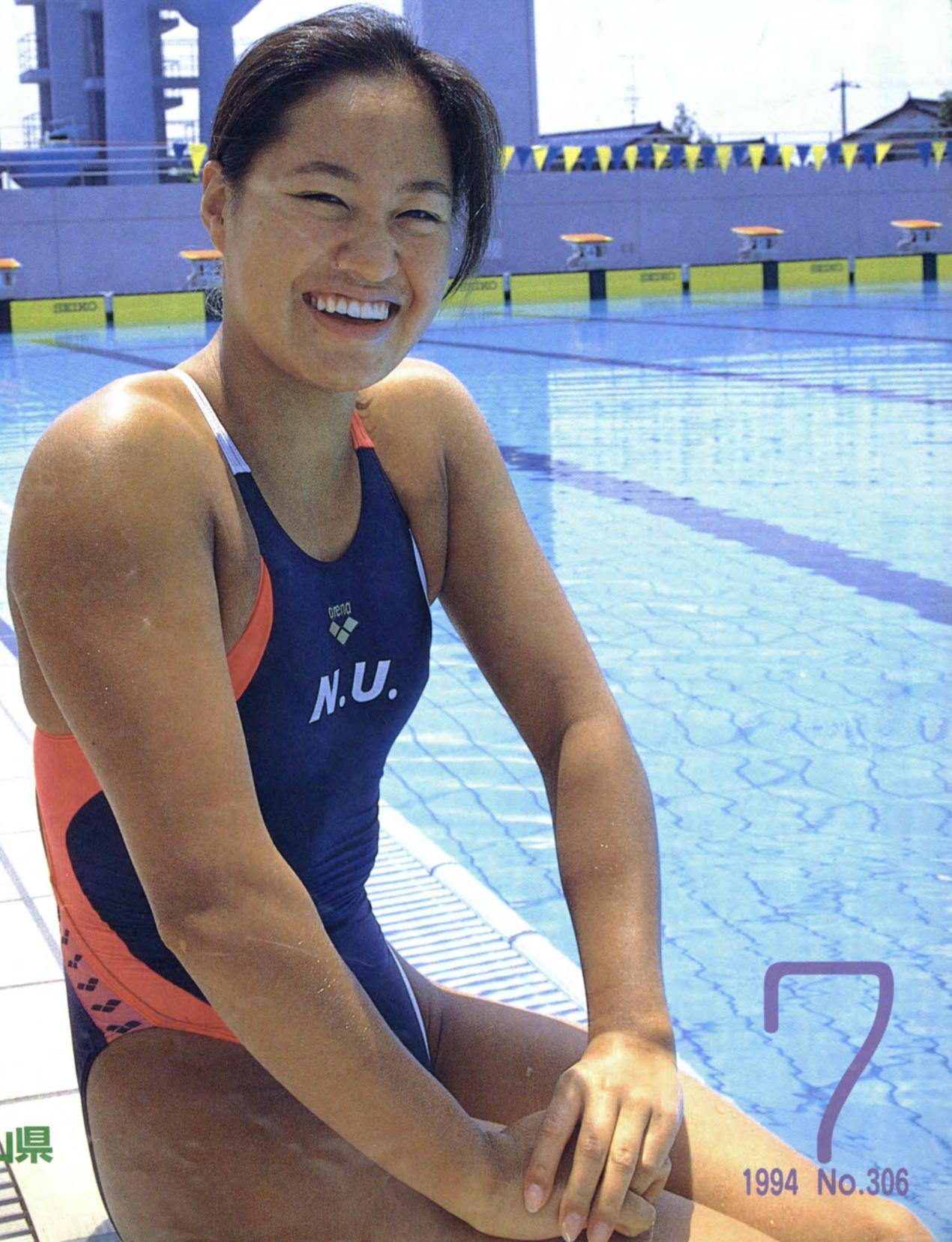


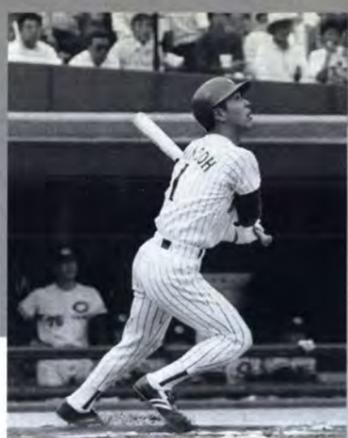
県 広 報

# とやま

トピックス/ きてみてトーク  
TOYAMA

TOYAMA PREFCTURAL REPORT





「あのプレーがなかったら、プロから声はかからなかったでしょうね。」と振り返るのは、横浜ベイスターズで活躍する進藤達哉選手。あのプレーとは、進藤選手が高岡商業時代に甲子園に出場したとき、三遊間を抜けようかという打球をアウトにした超フラインプレーのこと。「それまでは、走、攻、守それなりにまとまった選手としての評価はいただいていたのですが、これはというものがなかった。あのプレーが、プロのスカウトに守備範囲の広さをアピールしたようなんです。」

進藤選手の野球との付き合いは、小学校一年生のときから。「僕の小さいころは、遊ぶといったら野球でした。今は色々ありますけどね。」高校では迷わず野球部に入部し、念願

## ピッチャーに信頼される選手になりたい

### 横浜ベイスターズ 進藤達哉内野手

の甲子園出場を果たします。「意外なことに、甲子園に出たことよりも予選で苦しい思いをしたことが、印象に残っているんです。一回負けたらおしまいですから。準決勝が結構接戦で、今考えたらあのプレッシャーは物凄いものがありましたよ。」

そして、いよいよプロからの誘い。「それまではプロ野球選手になるなんて考えてもいなかった。でも希望しても入れない球団だし、たとえ芽がでなくてもいいから自分の力をためてみようと思ったんです。」そんな進藤選手もプロ一年目はさすがにホームシックにかかったとのこと。「学生時代と違って朝起きてから夜寝るまで練習でしょう。それが最初は耐えられなかったですね。」

さて、守備が買われてプロ野球界に入った進藤選手ですが、今では長打力も兼ね備えたトップバッターとしてチームを引っ張っています。「自分はあくまで守備の人。僕のところには飛んだらピッチャーがほっとできるような、そんな信頼される選手になりたいですね。」と語る進藤選手。今後も内野手のかなめとして、また横浜ベイスターズの顔として活躍してくれることでしょう。



写真提供:北日本新聞社



# 万葉のふるさとにモダンなスポーツ施設誕生

## 富山県高岡総合プール

50m屋外プール



竣工式での華やかなシンクロ演技



各種飛込台も完備



25m室内プール



室内トレーニングルーム

この六月、万葉のふるさととして知られる二上山のふもとに富山県高岡総合プールがオープンしました。

水平線をイメージさせる正面デッキ、ゆるやかな曲線を描く大屋根など、自由で伸びやかな外観が印象的なこの施設には、五〇メートル九コースの屋外プールと二五メートル八コースの室内プール、屋外飛込プールなど全国規模の公式競技会が開催できる施設が整っています。また、室内トレーニングルームや会議室などの施設も充実しています。

観客席は、五〇メートルプールに三千席、飛込プールに五百席分のスペースを確保。また、エンタランスホールは、自然光の差し込む吹き抜け空間となっており、県民がくつろげる憩いの場になっています。さらに、体の不自由な人にも利用していただけるよう、車椅子対応の更衣室やシャワー室が整備され、床面にはなるべく段差を設けないように工夫されています。

このように、富山県高岡総合プールは、どなたでも気軽に利用できる二十一世紀に向けた生涯スポーツの拠点として、また、水泳競技の普及・レベルアップの場として、幅広い活用が期待されています。

さて、今月号の表紙を飾ってくださったのは、プールの竣工式で模範演技を披露した昨年度二百メートル個人メドレー世界ランキング五位の前原仁美選手(武蔵野高校二年)。間もなく始まる全国高校総体の競技会場となるこのプールで、素晴らしい泳ぎをみせてくれることでしょう。

|     |                           |               |               |
|-----|---------------------------|---------------|---------------|
| 所在地 | 高岡市ハケ88番地の1               |               |               |
| 利用日 | プール                       | 月曜～土曜 14時～20時 | 日曜・祝日 10時～16時 |
|     | トレーニング                    | 月曜～土曜 9時～21時  | 日曜・祝日 9時～17時  |
| 問合せ | 高岡総合プール TEL0766 (28) 1166 |               |               |

## CONTENTS

7

7月号もくじ

- 表紙 撮影/赤羽仁諭(富山県写真家協会会員) 表紙の人物/前原仁美(平泳ぎ日本代表)
- とやま遊学感/高岡総合プール 表2
- ひとアスとやま/進藤達哉内野手 (横浜ベイスターズ) 1
- クロスアップ・県政の動き 2
- ①警察本部庁舎竣工式
- ②富山県地域づくり団体ネットワーク協議会発足
- ③知事のまちまわり(井口村・城端町) トピックス/キョーテイトーク TOYAMA 4
- PINUP TOYAMA 8
- 写真/滝川邦彦(日本写真家協会会員)
- 詩/池田瑛子(富山現代詩人会副会長)
- ふるさととある記(上平村) 10
- ①塩硝の館
- ②ロジ室引荘 西敬一さん
- ③上平さの組合
- エッセイ/長沼紫紅 (富山県俳句連盟副会長) 12
- 高校総体を成功させよう⑩ 13
- まなびピア94の概要⑦ 14
- 県からのお知らせ 16
- 暮らしのアドバイス 16
- とやまの祭事記/ねぶた流し (滑川市) 表3

# スプー ズ スプー ズ

5/20

## 暮らしを守る新しい拠点に 警察本部庁舎竣工式



祝 富山県警察本部庁舎竣工式



県庁西側で建設が進められていた富山県警察本部庁舎が完成し、五月二十日に竣工式が行われました。この庁舎は、「治安のシンボルとしての風格」を基本理念に設計された地上十一階、地下二階のインテリジェントビル。

県庁大ホールで行われた式典では中沖知事が二十一世紀に向けた犯罪のなにより明るい社会づくりの拠点として、大きな役割を果たすものと確信している」とあいさつ。続いて千葉県警本部長が「安全で住みよい郷土を守るため、警察職員

一丸となって百二十万県民の安全の確保に全力を尽くしたい」と決意を述べました。新庁舎前で県警音楽隊の演奏、くす玉割り、テープカットなどで完成を祝った後、関係者は、十階通信指令室の開始式に出席。富山駅前で事件が発生したとの想定で、大型マルチ画面をはじめとする最先端の機器が紹介されました。

犯罪がますます複雑化、広域化している今日にあって、新庁舎はより迅速で的確な警察行政を行う拠点として、大きな役割を果たしていきます。（見学等については、電話0764・41・2211内線2313警察本部広報室までお問合わせ下さい）



▲最先端の機器がそろう通信指令室

5/23

## 地域づくりの主役が連携

「富山県地域づくり団体ネットワーク協議会」発足

富山県地域づくり団体ネットワーク協議会の設立総会が、五月二十三日ホルファートとやまで開催されました。

この協議会は、地域づくりに取り組む団体の相互交流や情報交換を推進し、民間の自主的な地域づくり活動を促進するために設立さ



れたもので、県内の地域づくり四十二団体と各市町村の企画担当課長で構成されています。

この日の設立総会に出席したのは、各団体の代表者ら約百二十人。まず、内貴県総務部長が「地域づくり団体どうしが情報交換を行い、ノウハウを共有することが重要」とあいさつ。その後、規約、役員、事業計画等の決定を行いました。



▲地域づくりコーディネーターを委嘱

総会に続き、各団体への助言を行う「地域づくりコーディネーター」の委嘱式が行われ、県地域づくりリーダー養成塾のOB二十七人が委嘱されました。

なお、協議会では今年度、参加団体のプロフィールを紹介する冊子やコーディネーター人材集の作成、研修交流会や情報交換会、県との共催による「地域活性化フォーラム」の開催等を計画しています。

5/31

## 心と心をつなぐふれあいの輪

知事のまちなわり 井口村・城端町



▲城端中学校テニス部の皆さんに「ヤアこんにちは」（城南パーク）

▲心なごむふれあい対話（野口営農組合） ▲入居者との交流 特別養護老人ホーム「きらら」

今年度初めての知事のまちなわりが五月三十一日、井口村と城端町の両町村で行われました。午前中は、井口村の椿並木道と芝あぜ、村立住宅「椿が丘団地」、無償分譲地「いのくちニュータウン夢椿」、協立アルミ井口工場を順次視察。続いて、今年4月に開所した城端町の特別養護老人ホーム「きらら」を訪問し、お年寄り一人ひとりと握手し、「いつまでも元気で長生きしてください」と激励しました。

午後からは、城端町の桜ヶ池・自遊の森で両町村の議会議員と懇談。その後同町でのふれあい対話に臨んだほか、城南パーク、町史館「蔵回廊」を視察しました。

特に一集落一農場方式による高生産性農業を実践している野口営農組合を訪問してのふれあい対話では、晴れ渡った空の下、組合員とひざを交えながら、和やかな中にも活発な話し合いが行われ、最後に知事が「集落全体が力をあわせて取り組む集落営農が一番よい方法。果も積極的に推進していきますので、日本の農業のモデルとなるようこれからも頑張ってください。」と言葉を結んでいました。



▲成果品を前に（協立アルミ井口工場）

## 県政の動き

H6. 5月11日～6月10日

- 5月12日 宮崎漁港臨港道路宮崎橋開通式
- 5月19日 平成6年度「とやま賞」贈呈式
- 5月20日 警察本部庁舎竣工式
- 5月23日 富山県地域づくり団体ネットワーク協議会設立総会
- 5月27日 「まちのかおづくり事業」視察会
- 5月30日 富山県高岡総合プール竣工式  
消費者月間記念富山県大会
- 5月31日 知事のまちなわり（井口村・城端町）  
世界禁煙デー街頭キャンペーン  
防災パトロール（～6月2日）
- 6月4日 第49回県展（～10日）
- 6月9日 新川文化ホール定礎式

キてミてトーく TOYAMA

富山の魅力を肌で感じて下さい!

キてミてトーく TOYAMA

首都圏のテレビ・ラジオ局の女性アナウンサー等十二人を富山に招き、富山県の魅力を肌で感じてもらう、大いに語ってもらおうというユニークな事業が、去る五月二十三日から二十六日まで行われました。名付けて「キてミてトーくTOYAMA」。さて、感性豊かな女性アナウンサーの皆さんに、富山はどのように映ったのでしょうか。



▲ライチョウ(左下)とスナップ・ショット



▲絶叫のソリ体験



▲雄大な立山をバックに



▲美女平でバードウォッチング



▲利賀村「脱想の里」にて



▲利賀村の野外劇場をバックに



▲また、ぜひ来て下さい。



▲トロッキ電車の旅



▲大岩山日石寺にて



▲高岡・老子製作所を見学



▲おわら踊り講習会

キてミて こぼれ話

● 豊田順子さん(日本テレビ)は八尾町を散策中、地元を知り尽くしたおじさんのトラックに拾われ、町内を案内してもらったというハプニングに。なお、おじさんは運転中終始おわら節を素晴らしい声で歌い続けたとのこと。

● 関戸めぐみさん(フジテレビ)と小池可奈さん(文化放送)は、立山でソリすべりを初体験。絶叫とともに雪面を滑り降り、スリルを満喫。

● 立山を訪れた佐藤紀子さん(テレビ朝日)・鷹西美佳さん(日本テレビ)らは、幸運にも至近距離で雷鳥に遭遇。いつしよにスナップ撮影にも成功。

● 文化放送の小池可奈さんと水井久美さんは滞在「百日の深夜、富山のスタジオから「富山は本当にいい所。私たちの第一の故郷」と一時間にわたる富山の情報を全国ネットで生放送。

あらゆる視点から富山を探訪

招待された十二人は、それぞれ興味のあるところ、行ってみたいところなど、目的地別にグループに分かれ、おむね二泊三日の日程で県内各地を見学しました。美女平や雪の大谷をはじめ、黒部峡谷、砺波の散居村の家、高岡の銅器製作所、利賀村の脱想の里、近代美術館、滑川の水産試験場など、訪問地は富山の自然、生活、文化、産業などに触れることができるように多岐にわたる。参加者たちは富山をまさに肌で実感した様子でした。

キミでトーくTOYAMAでは二十四日、参加女性アナウンサーと中沖知事との間で、意見交換会が行われました。県内各地を見学した感想や富山に対する提言などを述べてもらい、今後の富山県のイメージアップに役立てるのがねらいです。県側からは知事のほか、吉崎文化行政推進顧問、市丸企画部長らが参加。なごやかな中にも活発な意見のやりとりが繰り広げられました。以下参加者たちの声を紹介します。

中沖知事

いま、住みよさや豊かさを全国でも高い評価を受けている富山県ですが、これは横綱不在の中での事だと受け止めています。これから真の横綱を目指し、文字通り「富が山とある県」になるためみなさんが富山に対してどんな印象を持たれたか率直な意見を述べていただき、それを今後活かしていきたいと思っています。

友人に「今度富山へ行くんだよ」と言ったら、「富山って何があったっけ」と逆に聞き返されてしまいました。確かに富山には海も山も川も何でもありません。何でもあるだけに「富山と言えばこれ」といったものがない。イメージアップを考えるときは、何かインパクトのあるものを一つに絞ってPRしていけばどうでしょうか。

味方恵子さん (NHK)



私自身富山の出身なので、今日おいでになった方々の意見を聞きたいのが正直なところなんです。少し気になったのは、県陸上競技場の駐車場の少なさですね。あれだけ素晴らしい施設なのでですから今後もっと利用者の立場にたった整備をしていってほしいと思いました。また、音楽会やイベントなども、一流のものを呼んできて県民の方々に見てもらうことも必要なのではないでしょうか。

豊田順子さん (日本テレビ)



長野県生まれで埼玉県育ちの私にとって、海と山が両方楽しめるところがうらやましいです。立山は本当に素晴らしいです。ただ、飛行機で一時間もかからないのに、遠いイメージがあるのなせでしょうか？「近さ」というものをまず感じてもらうのがイメージアップへの第一歩ではないでしょうか。

鷹西美佳さん (日本テレビ)



飛行機で来ると富山は本当に近いですね。これはうれしい発見でした。どこからでも見える山、豊かな緑、見るものすべてに感激です。今日は山奥の素敵なお寺（大岩山日石寺）に行ってきたんですが、おみやげ屋があるわけでもなし、大きな看板でPRするでもない。観光地化することは、お金があれば誰にでもできること。それをせずにあるのまますべて残している点が素晴らしいですね。今後はハード面ではなくソフト面を充実させていけば、より魅力あふれるスポットになるのではないのでしょうか。

吉川美代子さん (TBS)



筒井桜子さん (フジテレビ)



富山は遠いというイメージを持っていましたが、あまりに近いのに驚きました。富山市内は、人工的ではなく自然でコンパクトにまとまっていますね。富山の人には美的センスを無意識のうちに持っているのでしょうか？また、薬売りという「信頼」のうえに成り立つ商売が、この時代にも続いているのはすごい一言です。残念なのは、大学を卒業した女性が働くような企業が少ないことですね。

笛吹雅子さん (日本テレビ)



私は奈良県の出身なんですけど、奈良には重要な文化財がごろごろしているのでもそれに対する感覚が麻痺しているんです。富山でもそれと同じことが言えるのではないのでしょうか。もっと自然や文化の素晴らしさを県民の方々に認識してもらいたいですね。それと、全国に先駆けてナチュラリストというものを導入されたことに感心しました。

吉田秀子さん (テレビ神奈川)



富山に来て一番印象的だったのは、ナチュラリストの存在です。この人達が自然や観光に対する正しい思想をどんどん広げていく。観光客としての立場から見れば、とても頼もしいですね。それにしても、美女平や立山の自然には驚嘆させられました。

小池可奈さん (文化放送)



私は大分出身なんですけど、最近知事が村おこし町おこしと言いだしてからは、故郷の良さを感じなくなりました。故郷の良さを価値のあるものにつくれません。中沖知事は、「富が山とある県」とおっしゃいますが、富山にはもう山ほどの富があります。それを守り続けていけば、そのうちこれが本物なんだとみんなが気づくのではないのでしょうか。ここには、日本の美しいものすべてがあるのですから。

水井久美さん (文化放送)



私の番組にいただく富山の聴取者からのお便りは、真面目で堅いんです。そんなこともあって富山県人は、「堅い人」というイメージを持っていたんですが、実際に接してみると本当は温かい人ばかりだということがよく分かりました。今日おじやました利賀村では、フキの葉で清流の水を汲んで飲んだりするそうなんです。どんなお金があっても味わえないものではないでしょうか。こんな素敵な所、宣伝はしたいけれど俗化はされたくない。複雑な気持ちです。

関戸めぐみさん (フジテレビ)



私の出身地、神奈川にも海や山があります。しかし、富山の違うところは、それらがギュッと凝縮されているところですね。今日は、海王丸パークや埋没林博物館へ行ってきたんですが、日本海に対して抱いていたイメージとは違い、とっても明るかったんです。「日本海は寒い」というイメージを払拭するためにも、海のテーマパークをどんどんつくってほしいのではないのでしょうか。

佐藤紀子さん (テレビ朝日)



今日は、八尾の曳山、本法寺の曼陀羅を見てきたんですが、とても素晴らしかったです。ただ、残念なのは公共交通機関が少ないこと。観光化してほしいとは思いますが、気軽に見に行けなくても構わないです。羽田から富山空港へ行くよりも、富山空港からその場所に行くほうが大変なのではないでしょうか。

佐々木明子さん (テレビ東京)



とてもコンパクトにまとまった県だという印象を受けました。テレビ東京は旅の番組が多いので、黒部峡谷はよく紹介させてもらっています。今は五万円もあればグアムへ行ける時代。だからお金をかけてでも行きたいところ、富山だったらさしずめ命の洗濯のできそうな美しい自然を、どんなアピールしていくべきでしょうか。



中沖知事

いろいろな意見をいただき大変興味深く思いました。日本全体で目標がなくなっている今日、明確なビジョンを持ち着実に実行していくことが重要です。その根本になるのが人づくりだと考えています。みなさんのご意見を参考に、これからは人づくりを基本に据えて県政を進めてまいりたいと思っています。今日はどうもありがとうございました。

好評のうちに幕を閉じた「キミでトーくTOYAMA」。参加者のみなさんからは、「今度は一観光客としてぜひ来たい」「東京でも会う人ごとに富山をPRしている」など、お便りをいただいています。また、「水や空気が、山菜やお魚、もちろんお酒もとてもおいしい。そんな幸せの中、地元の人たちが何げなく暮らしている素直さが富山のよさなところ。」「というスポーツ紙への寄稿もありました。私たち県民自身、もっと故郷に目を向け、その素晴らしさを再認識する必要があるのではないのでしょうか。

ゆうひが海にあふれると  
記憶のなかの海も光った

あれは

くぐり抜けてきた歳月に

翔び立てないまま置き去られた

言葉や願いだろうか

美しい影となつて

ふかい静寂に舞いあがる

聴こえない旋律に<sup>こた</sup>応えながら

思い出が

このころの渚に打ちよせる

魔のひととき



# 上平村

ふ・る・さ・と  
み・て・あ・る・記

## 異次元ゾーンへようこそ

塩硝の館



▲戦国の合戦シーンが目の前に…



▲塩硝の館



▲塩硝を作る過程をミニチュアで再現

上平村の菅沼地区は、国指定史跡合掌集落である。この地区に入るだけで、まるでタイムスリップしたかのような感覚におちいる。そんな一角に置村百周年事業の一環として平成元年にオープンした塩硝の館がある。(塩硝とは黒色火薬のことである。)

塩硝の館が建設されたのは、チリ硝石が輸入され始める明治初期まで、上平村が日本でも有数の塩硝の産地であったことが背景にある。「当時は交通機関が発達していないのに、鉄砲が伝来してわずか二十数年で、塩硝の製造方法がこの山里にまで伝わって来たんです。驚きでしょ。」と、上平村教育委員会の道宗さん。

館内には、塩硝ができあがるまでをミニチュア模型や影絵風の映像を用いて分かりやすく展示してある。そして、すべての展示を見終えると、昔、緑日の露店でみたような鉄砲が目にはいる。この鉄砲を構えて的を打つと、「ズドン」という大音響と共に音と映像

## 上平村の

## 自然直送便

### 上平きのこ組合



▲上平きのこ組合 塚本昭二郎さん

「昔は村から出荷できる地場産品がなかったんです。だからなんとか自分たちの特産品を作りたかったんです。」

## 上平村の 自然が大好き

### ロッジ宝引荘 西 敬一さん



「鮭は生まれた川に帰ってくるでしょ。私もあれと同じなんです。」と自らのことを評する西さんは、上平村の自然にひかれて帰村し今ではロッジ宝引荘を経営している。



▲ロッジ宝引荘



▲山菜懐石料理のフルコース

このロッジでは、春と秋に風アレンジしたものを出している。このことを、特にPRしていないのは、西さんの山菜料理へのこだわりからである。「山菜は予約が入ってから山の奥深く採りにいくのでその量が限られてきます。それに、妻と二人で一度に作れる料理にも限界があるんです。だから、たくさんのお客さんを一度にもてなせないんですよ。おいしいものを温かいうちに味わってほしいですからね。」そんな西さんは、山菜採りのときに、熱中し過ぎたあまり山で迷ったことや、熊に遭遇したこともあるそうだ。

「山菜取りを仕事の一貫としてではなく趣味でやっているから、まったく苦にならないんですよ。」と西さんは言う。大好きな自然に囲まれて暮らすこと自体が、西さんにとってこの上ない幸せなのだ。その表情には生き生きとした笑顔がこぼれていた。



▲なめこの袋詰め作業

「昔この村では、原木栽培という、高所で木に直接菌種を植えて栽培する方法でなめこを作っていたんです。だから、容器に菌を植える菌床栽培でも成功させる自信がありました。」と、塚本さんは振り返る。無農薬で栽培される「五箇山なめこ」は、味も香りもよいというので、今や東京市場で高い評価を得ているという。

「県内で販売されているなめこの多くが石川県産なんです。県内でもっと販売を拡大して、シェアを奪い返し、上平村の代表的な基盤産業にしていきたいですね。」と今後の夢を語る塚本さん。その表情には力強い決意がみなぎっていた。



▲なめこを収穫中

### 上平町の概要

・人口 1,036人 ・面積 94.77km<sup>2</sup> (平成6年5月1日現在)

富山県の最南端に位置する上平村は、周囲を山々に囲まれた自然景観に恵まれた村である。歴史とともに守り継がれてきた菅沼合掌集落からはいにしえに思いをはせることができる。県境の飛越合掌ラインは、7つの色で塗られた町のかけ橋となっており、新緑に紅葉にドライバーの目を楽しませてくれる。



全国高校総体を成功させよう⑩

# スポーツの祭典いよいよ開幕！



「立山に えがけ大きく 君の青春」をスローガンとした平成六年全国高等学校総合体育大会（インターハイ）の開幕（7月31日）まで、いよいよ秒読みとなりました。大会には選手団を含め関係者約六万人が参加します。また、県内からは、競技選手はもとより、開会式の公開演技、大会の補助、花づくり、記念品づくりなどの「一人一役運動」を通じて、高校生全員が参加することになっています。

大会まで五〇日となった六月十一日、中沖知事が各高校や練習会場など五か所を訪問し、本番に向け練習に余念がない選手たちに、「健康管理に十分気を付けてインターハイでは素晴らしい成績を挙げてください。」と激励しました。

また、各会場地市町村ではさまざまな記念行事が行われるなど、開幕に向けて全県的な盛りあがりを見せています。



紫陽花の美しい季節になりました。私は、山全体に咲かせている紫陽花よりも、公園や狭庭の一隅にさりげなく咲く紫陽花が好きです。紫陽花は、雨の花でもあります。花や葉に光る水滴が、花の色を微妙に美しく変化させるのです。

今年は平年よりも一日遅く六月十三日に県内が梅雨に入り、僅かですが雨を降らせました。長く日照りが続いていただけに、恵みの雨であったようです。

紫陽花は、「あず」（集まる）と「さい」（藍色）から生まれた語と言われます。四片の小さな花がたくさん集まって、毬状の花をつくられていることから「手毬花」とも言われています。

子が触れば弾むはずむよ手毬花 紫紅  
また、花が開いてからは、白、藍、淡光色などに色が変化することから「七変化」の名もあります。

朝にはあしたの色や七変化 紫紅

紫陽花が手毬花とか七変化とか言われていることや、あじさいの見せる微妙な色の美しさを発見できたのも、俳句をつくっているからにはかなりません。俳句は決して難しいものではなく、見たままを、感じたままを五・七・五の十七文字に書きとめることです。

このごろ、私の家は雀のお宿となっております。小学生の孫が、毎朝パン屑をやっつけて、そ

れをどこで見ているのか何羽もの雀が一斉に羽音をたてて集まってくるのです。よく時間を知っていて、少しでも遅くなるとガラス戸をばたばたと羽で叩いてパンの催促。戸を開けて畳の上にパン屑を置いておくと、当たり前のような顔をしてとんとんと畳を歩きパンをくわえては飛んでいきます。

雀は春に卵をかえし雛を育て、ようやく飛べるようになった子雀には、必ず親雀が近くにいる面倒を見ている。体は親雀に負けないくらい大きな子雀ですが、やはりどこか幼っぽく動きもたどどしく見えます。そんな子雀が大きな口を開けて、親雀からパン屑を貰っている姿は、実に愛らしいものです。

子雀に大地でふやはらかきもの 紫紅

とんとんと地に弾む子雀。大地は柔らかくそれに応え、子雀を愛しんでいるのです。

「雀の子そのけそのけ御馬が通る」という一茶の有名な句がありますが、この句もまた雀の子を愛しいと見てできた句なのでしょう。

このように俳句は誰にでもできる文芸詩。日本の美しい自然、風土、生活の中から生まれるべくして生まれたものです。俳句はものをよく見ることによって生まれます。ものをよく見ていると、今までは違った新しいものが見えてきます。そして、新しい世界が開けてくるのです。

俳句の魅力は、「創造するよろこび」にあるといえましょう。

# 俳句の魅力

富山県俳句連盟副会長  
長沼 紫紅



## （大会テーマ）高志のくにからひろがる学び 第6回全国生涯学習フェスティバル



デザイン：石ノ森章太郎

開催期間 平成6年10月6日(木)から10日(月)の5日間  
開催地 富山市・高岡市・黒部市・砺波市・小杉町  
協賛事業 平成6年9月1日(木)から11月30日(水)まで県内全域で実施



万葉のふるさと高岡でPR  
100日前プレイベント

開幕まであと一〇〇日に迫った六月二十六日(日)、高岡市で「一〇〇日前プレイベント」が開かれました。

午後一時半、志貴野幼稚園の園児たちによるかわいいマーチングバンドで開会。高岡大和前の特設ステージでは、越中大島太鼓やマジックショーなどが披露されたほか、万葉集の愛好家で構成する高岡朗唱の会のメンバーが艶やかな衣装を身にまとい、歌を詠みあげ、雅びやかな世界を繰り広げるなど、買い物に訪れた家族連れなどに大いにフェスティバルをPRしました。

## 届ける生涯学習「マナビイ宅配便12」を実施！

フェスティバルの充実事業「マナビイ宅配便12（愛称）」の準備が現在、関係者の協力を得て進められています。

この事業は富山県と関係団体、県内マスコミ各社が共同開催するもので、「サラリーマンの二足のわらじのすすめ」、「子どもと生涯学習」などこれからの生涯学習の課題をとりあげたフォーラムやディベート（討論）大会など一連の催しが予定されています。

また、当日会場にお越しになれない方のためにこれらの催しの内容は、届ける生涯学習として、テレビや新聞などを通してお伝えします。どうぞお楽しみに！

●参加募集●

**第6回全国生涯学習フェスティバル**  
**「まなびピアとやま94」**  
**「まなびピアハーティー」募集**

会場などで来場者のお世話をするボランティアを募集します。

【①活動期間】平成6年10月6日(木)～10日(月)  
 【②活動場所】テクノホール、富山市体育文化センター及びその周辺(見本市会場及びマナビ広場関連区域)  
 【③応募資格】(1)18才から概ね65才まで(男女問わず)  
 (2)原則2日間以上活動できる人  
 【④募集人員】約30名(1日当たり)  
 【⑤応募方法】所定の応募用紙に必要事項を記入のうえ応募願います。応募用紙は、フェスティバル事務局、県・市町ボランティアセンター、市町村教育委員会生涯学習・社会教育担当課、県生涯学習カレッジ、県民会館、高岡文化ホール窓口にあります。  
 【⑥応募期間】平成6年7月20日(水)～8月10日(水)  
 【⑦応募・問合せ】第6回全国生涯学習フェスティバル富山県事務局 〒930 富山市新総曲輪4-18  
 富山県民会館 704号室 ☎0764・44・3437

「21世紀の技術立県とやま」創造への方策」論文募集

「21世紀の技術立県とやま」創造への方策」をメインテーマに県内外の学生の方から論文を募集しています。

・若者に魅力ある技術立県とやまをめざすには、富山県の産業構造の高度化への提言、富山県の特徴を活かした産業づくり、などの自由な副題をつけて応募して下さい。

●応募資格  
 ・県内の大学、短大、高専に在学中の18才以上の方。  
 ・県内の高校を卒業された方で、県外の大学、短大、高専に在学中の18才以上の方。  
 ・県内在住で27才までの方 いずれも、グループ応募可。

●お知らせ●

平成6年度 県民カレッジ連携講座

消費者スクール開催

①内 容 (第六回) 7月22日(金)午後1時30分から  
 ・「くらしに活かそう損害保険」  
 講師・損害保険代理業協会 犬島 敏明  
 (第七回) 8月12日(金)午後1時30分から  
 ・「アルコールのこんな使い方」  
 講師・アルコール協会 原田 哲和

②開催場所 富山市安住町第一生命ビル8階ホール  
 ③募集人員 一般県民 約120名  
 ④受講料 無料  
 ⑤申込み 富山県消費生活センター  
 〒930 富山市安住町7-18(富山安住町第一生命ビル内)  
 ☎0764・32・2949 ⑥0764・31・2631

視座とやまの作家たち展

富山県民会館美術館

日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真、それぞれのジャンルの作家たちが、ひとつのテーマに挑みます。

今回は、「外界を直観し、人間の内面からほとばしるものを捉える主題として、「象」を統一テーマとしました。人間の内なるものから生まれる「何か」を、県内で活躍中の約140人の作家たちがどのように表現してくれるか期待下さい。

●日時 7月29日(金)8月10日(水)  
 ●観覧料 一般200円、生徒児童100円  
 ●問合せ 富山県民会館 ☎0764・32・3111

みなさんの相談窓口

- 県政について  
 県民相談室 富山市新総曲輪1-7(県庁内) ☎(0764)31-4111(代) 31-3131(県民相談電話)
- 高岡地方県民相談室 高岡市赤祖父211(総合庁舎内) ☎(0766)21-9411(代)
- 魚津地方県民相談室 魚津市新宿10-7(総合庁舎内) ☎(0765)24-5311(代)
- 砺波地方県民相談室 砺波市幸町1-7(総合庁舎内) ☎(0763)33-5151(代)
- 物価ダイヤル  
 物価に関する苦情や相談があればお気軽にお電話ください。☎(0120)16-7400(県庁県民生活課内)
- 消費生活については  
 消費生活センター  
 富山市安住町7-18 安住町第一生命ビル内  
 (一般相談は) ☎(0764)32-9233  
 (金融相談は) ☎(0764)32-3252  
 消費生活センター高岡支所  
 高岡市本丸町7-1 本丸会館内 ☎(0766)25-2777
- 交通事故については  
 富山県交通事故相談所東別館1階 ☎(0764)31-4111 内4400  
 ●相談110番 相談  
 家庭問題・悪質商法・覚えい刑など、どんな相談にも応じます。☎(0764)42-0110
- シルバー110番  
 高齢者や家族の心配ごと、悩みごとに富山県高齢者総合相談センター  
 富山市舟橋南町5-14 社会福祉会館内 ☎(0764)41-4110

県からのホットニュース

- テレビ広報  
 ■チューリップテレビ 毎週土曜日 AM9:30～9:45 「志の輔のふるさとトーク」  
 ■富山テレビ 毎週日曜日 AM9:00～9:30 「112万人のひろば〜クイズ/フォーカス/イン」  
 ■北日本放送 毎週日曜日 AM11:00～11:30 「こんにちは富山県です」  
 7/3 リターン就職を応援します  
 7/10 私たちのふるさとづくり〜大山町〜  
 7/17 いきいき人生 ねんりんプラン  
 7/24 森を育て、森を親しむ  
 7/31 今日開幕、インターハイ
- ラジオ広報  
 ■FMとやま「ふれあいホットライン」  
 県内各地からホットな話題をクリアなサウンドでおとどけます。  
 毎週月～金曜日 AM9:50～9:55
- 新聞広報  
 ■北日本、富山、読売、北陸中日、朝日、毎日  
 毎月第2、最終土曜日  
 「県からのお知らせ」

平成6年8月街頭献血日程

| 日曜日 | 献血場所                   | 時間                        |
|-----|------------------------|---------------------------|
| 1月  | 富山市役所前                 | 9:00～16:00                |
| 7日  | 滑川市「滑川ショッピングセンターエール」前  | 10:00～15:30               |
| 8月  | 福光町役場前                 | 9:30～15:30                |
| 12日 | JR高岡駅前                 | 10:00～15:30               |
| 13日 | 富山市「アピタ」ショッピングセンター     | 10:00～16:00               |
| 21日 | 富山西武デパート前              | 10:00～16:00               |
| 26日 | 大門町総合会館<br>富山市中央通り     | 9:00～12:00<br>13:00～16:00 |
| 28日 | 黒部市「黒部ショッピングセンターメルシー」前 | 10:00～15:30               |

※都合により変更する場合がありますので、当日の新聞・テレビの街頭献血案内等でご確認ください。  
 ◎富山県赤十字血液センターでは、毎土曜日の午後も開所し(祝祭日除く)、献血を受け付けています。  
 富山県赤十字血液センター  
 富山市飯野26-1 TEL (0764) 51-5555

●啓発●

「夏の青少年をまもる運動」

県では、明日の富山を担う青少年が、心身ともにたくましく健全に成長することを願い、あ 明るい家庭 た 楽しい家庭 (た) 助け合う家庭 (か) 会話のある家庭の「あ(た)か(た)運動」をスローガンに、7月・8月の2か月間にわたって「夏の青少年をまもる運動」を展開しています。

皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

問合せ 県庁女性青少年課 ☎0764・44・3138

警察官募集

富山県警察では、警察官(大学卒以外の男子)と婦人警察官を募集しています。

――2万県民の「笑顔」と「しあわせ」を守るため、あなたの才能を存分に発揮してみませんか。

申込み・問合せ  
 富山県警察本部警務課  
 ☎0764・41・2211  
 内線2312、2313

※警察官募集案内

| 項目         | 受験資格   | 受付期間                 | 第一次試験    |                         | 募集人員 |
|------------|--|----------------------|----------|-------------------------|------|
|            |  |                      | 試験日      | 試験科目                    |      |
| 警察官(大学卒以外) | 昭和39年4月2日から昭和52年4月1日までに生まれた男子で、大学を卒業した方または平成7年3月までに卒業見込みの方を除く。 | 7月25日(月)から8月19日(金)まで | 9月18日(日) | ・教養試験<br>・作文試験<br>・適正検査 | 6名程度 |
| 婦人警察官      | 昭和39年4月2日から昭和52年4月1日までに生まれた女子。                                 | 7月25日(月)から8月19日(金)まで | 9月18日(日) | ・教養試験<br>・作文試験<br>・適正検査 | 2名程度 |

「働く女性のついで」開催

働く女性の意識向上、能力開発、「働く婦人の家」利用促進を目的として「働く女性のついで」が次の2会場で開催されます。

○富山県民会館ギャラリー  
 日時 7月16日(土)・17日(日)  
 内容 「働く婦人の家」の講座・サークル等を通じて製作した作品の展示(絵画・書道・レザークラフト・ポツデサインなど)  
 ○オルビス(マリエとやま7F)  
 日時 7月16日(土) 午後1時30分より  
 内容 佐藤洋子先生による講演  
 「働く婦人の家」利用者による意見発表、各種サークル活動発表  
 問合せ 県庁労政課 ☎0764・44・3257

7月は納税強調月間です  
 あなたの税金が、明日の富山県の糧

県民のみなさまには、県税の納付について日頃より御協力いただき、ありがとうございます。

県では、7月を納税強調月間として、税の仕組みや役割について、みなさまへの一層の御理解を呼びかけております。これに併せ、まだ納めていただいていない県税については、適正かつ公平な課税実現のため早急に納付いただくようお願いいたします。

みなさまの、より一層の御協力をお願いします。

【県税の取扱い・相談は】

| 事務所等      | 所在地          | 電話番号           |
|-----------|--------------|----------------|
| 富山県税事務所   | 富山市舟橋北町1-11  | ☎(0764)41-2551 |
| 自動車税センター  | 富山市新庄町馬場36-6 | ☎(0764)24-9211 |
| 高岡県税事務所   | 高岡市赤祖父211    | ☎(0766)21-9411 |
| 魚津県税事務所   | 魚津市新宿10-7    | ☎(0765)24-5311 |
| 砺波県税事務所   | 砺波市幸町1-7     | ☎(0763)33-5151 |
| 富山県総務部税務課 | 富山市新総曲輪1-7   | ☎(0764)31-4111 |

★国の税金は税務署へ、市町村の税金は市役所または町村役場へ

第44回「社会を明るくする運動」月間

7月1日から1か月間にわたり、「少年の非行防止と更生援助のため、地域住民の理解と参加を求め」ことを重点目標に「社会を明るくする運動」が全国的規模で展開されます。

この運動は、すべての人々が犯罪の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪のない明るい社会を築こうとするものです。

次代を担う少年たちの健全な育成に、県民のみなさまのご支援・ご協力をお願いします。

富山県保護観察所内「社会を明るくする運動」  
 富山県実施委員会 ☎0764・21・5132

不動産取得税について

不動産所得税は、土地や家屋を購入したり、家屋を建築するなどして不動産を取得された時にかかる税金です。

税額は、県や市町村が評価した価格に土地については4%、住宅の場合は3%の税率をかけて求めます。

また、価格、および面積について一定の要件を満たす住宅の取得については、住宅の評価額から一定額を控除する制度があります。

なお、平成6年度の固定資産税の評価替えて、宅地等の評価が上昇いたしますが、不動産取得税の負担増加を緩和するため、平成6年から平成8年までの間の宅地等の取得について、軽減措置が講じられることとなっております。

詳しくは、もよりの県税事務所まで、お問い合わせください。

平成6年度宅地建物取引主任者資格試験の実施について

日時 平成6年10月16日(日)午後1時～午後3時  
 場所 受験申込み受付時に指定  
 願書の配布 平成6年7月4日(月)～7月29日(金)  
 (社)富山県宅地建物取引業協会本部及び高岡支部にて配布  
 願書の受付 平成6年7月25日(月)～7月29日(金)  
 (社)富山県宅地建物取引業協会にて受付  
 受験手数料7,000円  
 富山県宅地建物取引業協会  
 富山市元町2-3-11 ☎0764・25・5514



## 押しつけ販売にご用心

### ・ネガティブ・オプション対処法3つ

**Q** ある日、知らない業者から郵便が届き、開封すると書籍と代金支払いの振込用紙が同封されていました。家族に確認しても、だれも申し込んだ覚えはないといっています。どうすればよいのでしょうか。(富山市六十才の男性)

**A** 注文していないのに一方的に商品を送りつけて、返送しなければ購入したものとみなし、代金を請求する商法を「ネガティブ・オプション」といいます。送られてくる商品は、業者からの「購入してほしい」という、単なる契約の申し込み過ぎなので、消費者側に「購入する意思」がなければ契約は成立しません。

この場合、消費者側には支払い義務はありませんが、商品の所有権は一定期間業者側に残ります。ですから、消費者はこの期間が過ぎるまでは商品を勝手に処分できません。

訪問販売法では、業者に商品の引き取りを請求した場合はその日から七日間、引き取りを請求しない場合は商品が届いた日から十四日間経過すれば、商品は自由に処分することができますと定めています。

ただし、この期間が経過する前に商品を使用・処分してしまうと承諾したものとみなされ、代金を支払わなければならないので注意しましょう。

相談は、県消費生活センター、電話0764(32)9233、高岡支所、電話0766(25)2777

## 編集後記

★進藤選手へのインタビューまでの待ち時間、横浜ベイスターズのベンチにいた。プロの練習は実にスムーズで無駄がない。水の流れることくメニューがこなされていく。それにしても駒田もブラッグスも盛田も予想以上にデカイ！それに比べ進藤選手の手は華奢なこと。この体でホームランを打つのだから正直すごいと思う。取材を終え一息ついてる私に、「こんなんで記事になりますかねえ？」と心配してくれた進藤選手。妙な親近感を覚えた。(K)

★梅雨に入ったものの、どうも空梅雨の気配。さしもの水の王国富山も、水不足が懸念されているようである。さて、雨の日でもプレイされるサッカー。先日、富山で横浜フューリゲルスVS清水エスパルスのJリーグ公式戦が開催された。前期優勝はサンフレッチェ広島に決まった後のゲームではあったが、当日はまさにJリーグ一色の富山であった。天候のほうも晴天に恵まれ、この日はやはり空梅雨に胸をなでおろした関係者も多かったのでは。(N)

★ふるさとみてある記第二弾、前回は文章を書くことに四苦八苦、今回も状況は変わらず。いつになったら迷文家でなく真の名文家になれるのだろうか。先輩方、私を見捨てず温かく見守ってください。(Y)

今月号で掲載したPIN UP TOYAMAの写真を選定で5名の方にワイド六ツ切(25×18センチ)でプレゼントします。希望される方は、官製ハガキで下記の様式でお申し込みください。9月16日消印有効です。

氏名  
住所  
電話  
本誌を読んだ感想

930 □□  
富山市新総曲輪1-7  
富山県広報課  
写真プレゼント  
7月号係あて

# 七月

とやまの祭事記

## 眠気の精霊を放逐する ねぶた流し

滑川市



ねぶたといえば、青森など津軽地方のものが有名だが、滑川のねぶた流しはそれらとは趣の異なったもので、最も南で行われるねぶただといわれている。

ねぶたづくりがはじまるのは、梅雨も明け頃。高さ七メートル程の青竹にわらくずなどを巻きつけ、その上からむしろで覆う。それを荒縄で締め上げ円筒形にする。できあがると割り箸にさしたなすやきゅうりなどの野菜を差し込み、台にのせ、数本の縄を張ってささえる。

「ねぶた流され、朝起きやれ」とはやしながらねぶたを担ぎ、街を練り歩いた後、海へと向かう。担ぎ手が泳ぎながら沖合いへ運ぶと上部に火がつけられ、クライマックスを迎える。

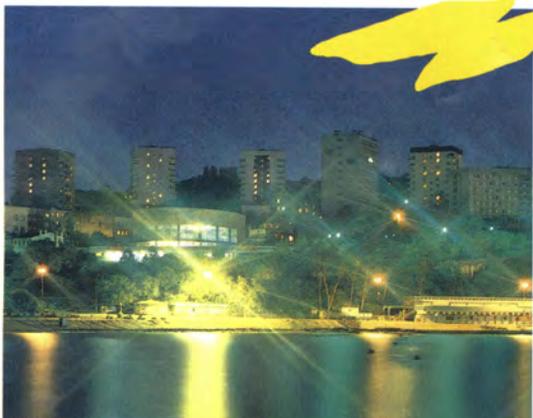
ところで、ねぶたとは、眠気の精霊のことを指すといわれ、収穫期に向かってその精霊を放逐するために行われたのが始まりだと伝えられる。また、水に入るのは、汚れや病気を水で流す禊ぎから転じたものといわれている。

夕日が海に沈むのに合わせるように、ねぶたも燃え尽きる。一瞬の静寂のあと、あたりは夜のとばりが降りて行く。

(参考文献) 富山の祭りと行事



レーニンスカヤ通り



市内の夜景



潜水艦モニュメント



ゴーリキー劇場

# 魅惑の街ウラジオストクへ

定期便概要 運行日 週1便(金曜日)  
所要時間 富山ーウラジオ間、約2時間

7月15日、富山ーウラジオ定期便がいよいよ就航。昨年就航したソウル便に次いで、県内2番目の国際便となります。  
「東洋のサンフランシスコ」とも呼ばれる美しい街ウラジオストク。また、ウラジオストク空港からは、ロシア国内便も充実しています。この夏、ロシアが近くなります。



ウラジオストク市

ロシア沿海地方の中心都市。人口は約74万人。産業は、漁業、林業、鉱業などの資源開発型産業が中心になっている。